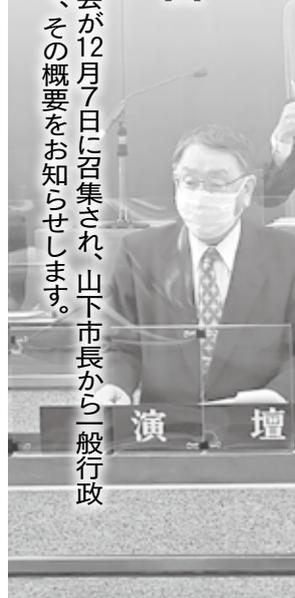


第4回市議会定例会 一般行政報告

第4回市議会定例会が12月7日に召集され、山下乡長から一般行政報告を行いましたので、その概要をお知らせします。



1 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチンの接種は、本年3月に医療従事者などから順次実施し、11月25日現在の2回目接種率は、高齢の方が92.2%、12歳以上の対象者全体では89.0%と順調に進んでいます。

また、3回目の追加接種は、本市では12月から医療従事者の方へ接種券を発送しており、今後も順次発送を行う予定です。

接種体制は、集団接種と個別接種を予定していますが、国からのワクチン供給状況が明らかになった時点で、日程などを含め、対象者にお知らせします。なお、接種の予約は、極力混乱を招かないような対策をし、安心して接種できる体制づくりに努めます。

2 農作物の収穫状況

本年秋の主な農作物の収穫状況は、空知農業改良普及センター北空知支所とJAきたそらちなどの情報によると、水稲は、農林水産省が発表した10月25日現在の作況指数は全国の101に対し、北海道・北空知ともに108と、平年を上回る予想収穫量となっています。品質の面では胴割粒、乳白粒などが例年より多いものの、食味が良いとされる低タンパク米の割合が昨年を大きく上回りました。

ソバは、干ばつの影響を大きく受け、収量・品質ともに平年を下回る状況で、大豆は、干ばつによる影響が懸念されましたが、その後天候が安定し、収穫は順調に進んだものの、収量は平年を下回り、品質もやや小粒傾向にあります。

リンゴは、干ばつやひょう雪の影響を大きく受け、収量は平年に比べて低く、品質は小玉傾向にあります。

今年は、畑作物を中心に干ばつや、ひょう雪などの影響があったものの、コメに関しては三年連続の豊作となったほか、JAきたそらちが「ゆめびりかコンテスト2021」で最高金賞を受賞しました。来年も総じて豊穰の年となるよう、引き続き、関係機関・団体と連携し、適切な対応に努めます。



3 農業者応援！こめつち 新米&農産物フェア

本イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により在庫の滞留や価格が下落するなどした、コメ・ソバを中心に市内農畜産物や特産加工品の消費拡大を図るため、10月16日に、生きがい文化センターの特設会場で開催したものです。当日は天候に恵まれ、たくさんの方々が来場される中、深川市舞台芸術交流協会によるステージイベントや、深川そばめし会による農産物の大抽選会などが会場を盛り上げました。

また、新米ご飯の振舞いコーナーのほか、ふかがわポークや深川牛、カレーなどを販売し、来場者に大いに楽しんでもらえたものと感じています。

今回のイベントを通じ、深川産農産物の魅力を市民のみならずへ伝えるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で販売量が減少している地元農畜産物や特産品の消費拡大の一助になったと考えているところです。



※このほか吉村教育長から「新型コロナウイルス感染症における小中学校の対応」令和3年夏期のスポーツ合宿状況「深川市スポーツ賞および文化賞」の3件について教育行政報告を行いました。